

NPO法人コレクティブハウジング社
2011年度 年次報告書

CHC annual report 2011.5~2012.4



Collective Ho

C

はじめに・・・

～NPO法人コレクティブハウジング社(CHC)の理念～

わたしたちCHCは

人と人が関わり、育む豊かさを
住まい手自身が築き上げることに
日常の暮らしの豊かさがある、
と考えます。

そして、
このような暮らしを実現するしくみと
空間をもつ住まいを
コレクティブハウジングとよび、
その実現を推進しています。



急速な社会環境の変化の中、
物質的豊かさの追求や個人や小さな家族の努力だけでは
安心安全で豊かな人間関係のある生活環境を守ることはできない、と
多くの人々が感じはじめています。

CHCは、
「共に住む、共に生きる、共に創る」をテーマとする
コレクティブハウジングを推進することにより
相互扶助機能が低下した生活環境を再生し
多様な暮らし方・生き方を受け止められる住環境づくりや、
安心安全なまちづくりを行うことを目的として設立されました。



コレクティブハウジングは、
自立した個人の自由やプライバシーを守りながら
生活の一部を共同化したり、空間や設備を共用化する事により
個人や小さな家族ではできない経済的で合理的な生活と
物理的・精神的に豊かで安らぎと楽しみのある住環境、
居住者自身の主体的取り組みによってつくり育てていく暮らし方です。
ゆるやかな助け合いの中で、一人でも、歳を重ねても
すべての人がいきいきと自分らしい暮らしができる事をめざしています。



わたしたちは、
今の住宅供給では満たされない
多様な居住形態の要望への細かな対応を推進するとともに
コミュニティの抱える多くの問題解決に可能性を持つコレクティブハウジングを
広く啓発普及する活動をはじめ
コレクティブハウジングの実現とその運営を支援していきます。



ごあいさつ

いつもNPO法人コレクティブハウジング社をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

2011年度のテーマは「飛躍の年」でした。

2009年度「再・はじまりの年～組織の『コレクティブ力』を高め、前へ～」、2010年度「ステップ」に続いて、暮らしづくりという意味でも、NPO活動という意味でも、一層のレベルアップを目指した1年でした。

NPO設立10周年を記念し、「コレクティブハウジング全国大会」を開催しました。「コレクティブハウジングの実践10年。開かれたコミュニティを社会へ」をテーマに、北は北海道、南は九州から延べ300名を超える参加者の方々にお集まりいただき、これから社会のありようやCHCの可能性を検討する節目の機会となりました。

また新たに3つのハウスが実現に向け、動き出しています。住宅供給公社との連携に挑んでいる「前橋コレクティブハウス元総社(仮)」に続き、都内でも、沼袋、蕨前の2ヶ所で事業化検討に着手しました。ハウスが増えることは、それだけ居住希望の方々の住みたいニーズに応えられるという意味においてだけでなく、それをきっかけとした社会的認知／存在感の拡大、ハウス運営支援という形での安定収入源の獲得、といった意味でも非常に大きなことです。

また、一連の活動の進捗に伴い、財務状況も改善しております。3年前、2009年度の事業年度を開始する時点では、CHCの正味財産は-108万円でしたが、以後、運営支援の拡大(1棟→3棟)、助成金収入の獲得、新規ハウスの企画と、取り組みを進めることで収入が確実に増加。本年度終了時点で224万円の正味財産を残せる状況にまで改善を実現してまいりました。

一方、コーディネーター人材の育成、組織的な事業主開発、会員主導のプロジェクト提案の受け止めなどには課題を残しております。

以上、小さくない課題を抱えつつではありますが、NPOとしての活動基盤や組織基盤は少しずつ整ってまいりました。社会からの期待感を感じながら、CHCならではの活動をこれからも続けていきたいと思います。

皆様からの温かいご支援に、改めて感謝申し上げます。
どうか今後とも、よろしくお願い申し上げます。

NPO法人 コレクティブハウジング社代表理事
影山 知明

この年次報告書でお伝えしたいこと

この年次報告書の作成にあたっては、ご参加/ご協力いただいている皆さんに2011年度の成果をご報告し、感謝申し上げると同時に、CHCへの参加をご検討いただく皆さんにとっても、活動の理念、内容、成果を具体的にわかりやすくお伝えすることを目指しました。お急ぎの方は、2011プロジェクト一覧(P10)を、お時間のある方はより詳細な報告等をご一読いただけましたら幸いです。

報告対象期間:2011年度(2011年5月～2012年4月)

もくじ

はじめに	1
ごあいさつ/この年次報告書でお伝えしたいこと	2
団体概要	3
2011プロジェクトレポート	
コレクティブハウジング全国大会	5
シェアする暮らしのポータルサイト	7
東北コミュニティ再生・創造支援	8
3つのハウスづくりはじめました	9
2011プロジェクト一覧	10
C HCへのメッセージ	11
メディアでの紹介/講師派遣	12
/ご支援・ご協力いただいた団体	
会計報告	13
会員制度のご案内	14

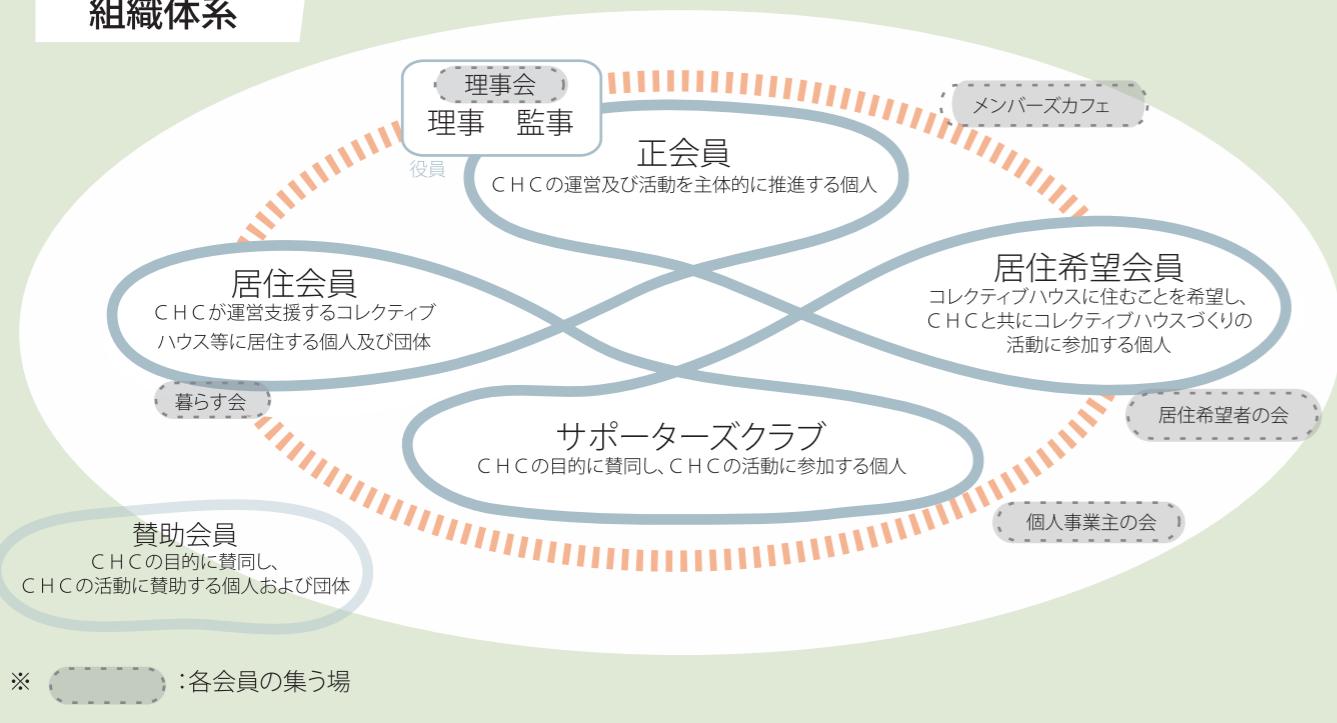
団体概要

組織概要

団体名	特定非営利活動法人コレクティブハウジング社(略称:CHC)
設立年月	2000年11月(2001年2月に東京都よりNPO法人認証)
事務所所在地	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクウェア1175*
連絡先	E-mail: info@chc.or.jp TEL: 03-5281-2310/FAX:03-6805-0245
ホームページ	http://www.chc.or.jp
役員(2011年度)	代表理事:影山知明/副代表理事:宮前真理子 理事:伊藤直子、大橋徹平、狩野三枝、高田美美子(事務局長)、姫野亜紀、宮本諭 監事:東登、渡邊喜代美

※2013年6月移転

組織体系



会員数推移

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
正会員	29	21	28	27	27
居住会員					
個人会員 ^{(*)1}	22 ^{(*)3}	22 ^{(*)3}	35 ^{(*)4}	44 ^{(*)6}	46
団体会員 ^{(*)2}	1	1	1	1	1
サポーターズクラブ	116	133	120	118	117
居住希望会員	49	72	50 ^{(*)5}	58	47
合計	217	249	234	248	238

*1: 正会員である居住者は、居住会員のカウントには入っていません。

*2: かんかん森居住者は一括して団体会員として登録しています。個人会員には含まれません。

*3: スガモフラットと松陰コモンズの居住者がカウントされています。

*4: 2009年度末に松陰コモンズが終了したため、スガモフラットとコレクティブハウス聖蹟の居住者がカウントされています。

*5: コレクティブハウス聖蹟入居に伴い、2008年度の居住希望会員の一部が居住会員に移りました。

*6: スガモフラット、コレクティブハウス聖蹟、コレクティブハウス大泉学園の居住者がカウントされています。

これまでの歩み

第一号プロジェクト実現のステップ

- 2000.11 研究グループALCC(Alternative Living & Challenging City、1994~)を母体として団体設立
- 2001.02 NPO法人認証
- 2002.10 松陰コモンズプロジェクト開始(2010年3月終了)
- 2002.12 豊かなときが流れる～ストックホルムのコレクティブハウジング 出版
- 2003.06 コレクティブハウスかんかん森 オープン



松陰コモンズ

事業展開摸索のステップ

- 2004.04 公団住宅におけるコレクティブハウス導入に関する調査受託(公団千葉地域支社)
- 2004.07 七彩の街～埼玉県営コレクティブハウジングの提案 委託業務
- 2005.04 高齢者の多様な住まい方支援調査・検討委託
－足立区におけるコレクティブハウジング事業推進の意義と課題



コレクティブハウスかんかん森

コレクティブハウジング仕組み整備のステップ

- 2005.10 居住希望者オリエンテーション開始
- 2006.04 「居住希望者の会」発足
- 2007.02 コレクティブハウス巣鴨(スガモフラット) オープン



コレクティブハウス巣鴨

CHC社会化のステップ

- 2007.07 ネットワークセミナー開始
- 2008.10 プラットフォームミーティング(会員向け交流の場)開始
- 2009.04 コレクティブハウス聖蹟 オープン



コレクティブハウス聖蹟

CHC再・はじまりの年

- 2009.07 団地コミュニティ再生支援(横浜市左近山団地)開始
- 2009.08 事業希望者オリエンテーション開始
- 2009.09 中山間地域の暮らしづくり支援(山梨県道志村)開始
- 2010.03 松陰コモンズプロジェクト終了



コレクティブハウス大泉学園

CHCステップの年

- 2010.05 コレクティブハウジング世界大会参加
- 2010.07 コレクティブハウス大泉学園 オープン
- 2010.07 コレクティブルーム力養成講座(コーディネーター養成)開講
- 2010.09 SVP東京からの投資開始
ファイナンスモデル研究開始
- 2011.04 タウンコレクティブ菊名 オープン



CHC飛躍の年

- 2011.07 群馬県住宅供給公社コレクティブハウス コーディネート開始
シェアする暮らしのポータルサイト オープン
- 東北コミュニティ再生創造支援PJ活動開始
メンバーズカフェ(会員間情報交流の場)開始
- 2011.10 コレクティブハウジング全国大会開催
- 2012.06 (仮称)コレクティブハウス沼袋 プロジェクト開始
- 2012.07 (仮称)コレクティブハウス蔵前 プロジェクト開始

プロジェクトリポート②

シェアする暮らしのポータルサイト、オープン！ <http://share-living.jp/>

2011年7月7日、七夕の夜、「シェアする暮らしのポータルサイト」がオープンいたしました。「世界中の“持ち寄る暮らし”を集めました。」をキャッチコピーに、コレクティブハウジングにとどまらない、関わり合いが新しい可能性を生んでいる事例を取材。読み応えある記事として紹介しています



(港区 芝の家)



(世田谷区 たぬき村)



(横浜市 あんさんぶる)



(相模原市 里山長屋)

「シェアする暮らし」とは、自分ひとりの暮らしに閉じるのではなく、生活環境の一部を他者と共有しながら、そこに互いの貢献を重ね合することで、より楽しく、より自由で、より安心安全な生活をつくり出す暮らしのあり方、と定義しています。自分をいかし、まわりをいかし、また自分がいかされる、持ち寄り型のソーシャルイノベーションです。

コレクティブハウス、シェアハウスといった住分野にとどまらず、地域子育て、コミュニティカフェ、コミュニティガーデン、シェア農業、ワークシェアリング、コ・ワーキング、コミュニティースクール等、暮らしのあらゆる側面で、自分たちで自分たちの暮らしをつくる、持ち寄り型の新しい試行が始まっています。それぞれ一見、分野は異なりますが、いずれもが既存の社会やシステムに自分を合わせるだけではない、積極的・創造的な社会づくりの事例として、互いに多くの共通項を見出せるものです。こうした動きを、ひとつのうねりとして紹介していくことも、このサイトのひとつの使命と考えています。

サイト開設後1年間で20を超える事例を紹介し、5万を超えるページ閲覧を達成しました。本サイトを通じてコレクティブハウジングという取り組みを知り、NPOのオリエンテーションへ参加するメンバーが現れるなど、新しい認知経路としても機能し始めています。

今後は、一方的に情報を受け取ってもらうだけでなく、紹介するプロジェクトへの参加を呼び掛けたり、プロジェクト立ち上げを支援したり、より双方向性を持ったサイトへと育てていきたいと考えています。またシェアする暮らしの実践者間での顔の見えるネットワークを形成していくことも、テーマのひとつです。

また、このサイトをつくっているのもみなCHCの会員。このサイトのつくれられ方自体が「持ち寄り」型です。シェアする暮らしの現場を訪ね、記事にまとめる者、それを編集・校正する者、システムの制作を担う者、サイトの情報更新やプロモーションを担う者——それぞれの得意分野を持ち寄ることで、このサイトができるがっています。特に新しいCHCのメンバーにとって、活動の担い手になるひとつのいいきっかけにもなっており、今後もそうした呼びかけを続けていきたいと考えています。

折しも「シェア」は時代のひとつのキーワード。「分け合う」シェアから、「持ち寄る」シェアへの再定義を目指します。コレクティブハウジングがまさにそうであるように。本サイトのこれから成長にご期待ください。(プロジェクトマネージャー 影山知明)

プロジェクトリポート③

東北コミュニティ再生・創造支援プロジェクト

(宮城県本吉郡南三陸町)

震災から4ヶ月経った2011年7月。住民1人ひとりが孤立することなく共に助け合い元気に、そして地域のことは地域で決める自由で新しいまちづくりへ向かうことを目指し、仮設住宅のコミュニティづくり支援プロジェクトをはじめました。



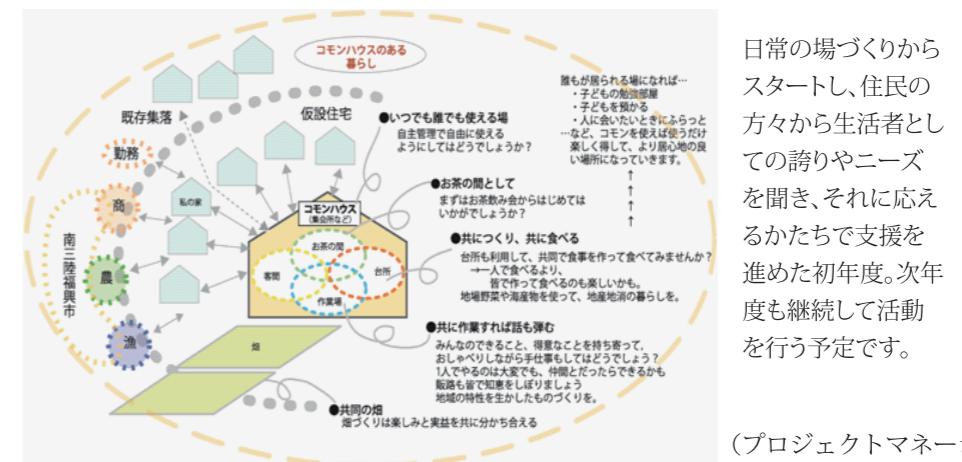
まず、住民の方からこととんお話をうかがうことを通して、皆さん何を望んでいるのか、何に落胆されているのか、何なら我々が役に立てるのかを考えながら、集会所を利用したコミュニケーションの場づくりを目指し、狭い住居にとどまらず暮らしの質の向上につながるような活動を生み出していきました。

まず始めたのは、暮らしの中の手仕事を仲間と共におしゃべりしながら楽しくやりましょうという「コモン・テ・しごと」。三陸の方々の暮らしに息づいていた切り子や刺し子などをおこなっていました。

また、人が集まって何かやった後には必ず一緒に何か作って食べようよと「お試しコモンミール」をやり、今では住民の皆さんの中で定番になりつつある仮設住宅もあります。こうやって集まってわいわいやっていると懐かしい食の話や体験談、被災前の家のことや町のことを話す気持ちが開いていき、それが大切にしてきたことを思い出す時間をもてるようになりました。そして、自分自身が様々なことを表現することによって、支援を受けるだけでなく何かを「発信したい」気持ちに変化し、皆さんの元気がパワーアップしていました。

手仕事に必要な資材は全国の有志から寄せられ、コレクティブハウス聖蹟の居住者の方が各仮設のニーズに合わせて仕分け、発送してくださっています。

そして、活動はニュースレターを通して、各仮設の住民や被災地の外側にいる支援者へ伝えることも続けています。



日常の場づくりからスタートし、住民の方々から生活者としての誇りやニーズを聞き、それに応えるかたちで支援を進めた初年度。次年度も継続して活動を行う予定です。



(プロジェクトマネージャー 狩野三枝)

プロジェクト リポート④

3つのハウスづくり、はじめました

今年は新しいプロジェクトが3つ動きはじめました。それぞれいろいろな経緯、想いのなかで事業がはじまります。まずはプロジェクトになるまでに糸余曲折。そして、本当に暮らしがはじまるまでには、もつといろいろな事が起こります。これからも温かい目で、新プロジェクトにご注目下さい。



【沼袋PJ】居住希望チームで検討し、作成した企画案

元総社プロジェクト

元総社プロジェクト=(仮称)コレクティブハウス染谷川は 群馬県住宅公社からのご相談がきっかけとなりはじまったプロジェクトです。前橋市に建設予定の元総社多機能公社賃貸住宅の中にできるコレクティブハウス(2013年開設予定)のコーディネータとしてCHCへ応募依頼をいただきました。

関東地方とはいえ、東京以外の土地でのコレクティブハウス。どのくらいの居住希望者がいるのか、遠隔地支援はどの程度可能なのか、さらに公的な制度との整合など、新たな課題が続出すると思います。しかし「公的なコレクティブハウスをつくる」という展開への期待も大きく、ここから新たなモデルを生みだしていくよう挑戦していきたいと考えています。

藏前プロジェクト

台東区藏前の事業主さんからご連絡を受け、藏前プロジェクトはスタートしました。実は既に一般的な賃貸住宅として計画案が作成されており、事業性を考えて「新しいタイプの賃貸住宅」「コミュニティを大切にする住まい」のコレクティブハウスをさらに検討したいというお話をでした。

事業主さんも設計者の方も詳しいことはよくわからないということで、まずはコレクティブハウスの見学からスタート。緊張の面持ちで聖蹟の見学にお越しなった事業主さんでしたが、住まい手の話を聞き、コモンミールと一緒に食べ…。見学後には「本当にこのような事を望む住まい手がいるのだ」と驚いた様子で、出来る事なら非コレクティブハウスを創りたいというご希望をいただき検討がはじまりました。

沼袋プロジェクト

「相続した土地建物をどう活かしていくか」。悩まれた事業主さんが以前から関心をもっていたコレクティブハウスを検討してみたいと、このプロジェクトははじまりました。

建物は中野区沼袋にある築47年・3階建ての漬け物屋さん。1階が工場、2階が倉庫、3階が賃貸住宅という構成です。資金はいくら必要か、事業の採算は取れそうか…検討のお手伝いがはじまりました。

一方で、居住希望者の会でおこなったまち歩きから沼袋チームが結成され、この土地をお借りして、新築の計画案検討のワークショップもおこないました。

(プロジェクトマネージャー 宮前真理子、狩野三枝)



【元総社PJ】建設予定の敷地見学



【元総社PJ】ワークショップの様子



【藏前PJ】一般住宅としての計画案



【沼袋PJ】敷地に建つ「阿波屋ビル」

2011プロジェクト一覧

運営支援

コレクティブハウス事業運営支援

暮らしの始まったハウスが快適に運営されていくよう、居住者組合と事業主を支援します。

- コレクティブハウス大泉学園
- コレクティブハウス聖蹟
- コレクティブハウス巣鴨
- コレクティブタウン菊名

事業モデル開発

●ファイナンスモデル研究

コレクティブハウスづくりにおける事業主組成の選択肢づくり、家賃低減や賃貸住宅居住を支えるしくみ検討などについて研究会を毎月1回開催しています。

●シェアする暮らしのポータルサイト

→プロジェクトリポート(P7)参照

●中山間地域の暮らしづくり支援 (山梨県南都留郡道志村)

人口2000人の村で、村民が協力して自立的・民主的に生活課題にとりくむような文化としきみづくりを、コレクティブなワークショップの方法論に基づき、2009年度から支援しています。

企画・開発

●居住希望者支援

相談対応、オリエンテーションを経て、居住希望者の会を編成しています。居住希望者主導でコレクティブハウスづくりの活動を行っています。

【11年度実績】

説明会(月3回)とハウス訪問(月1回)を定期的に開催

●事業主支援

コレクティブハウジング等の事業を希望する事業主、企画者など向けのオリエンテーション・個別相談等を行っています。

【11年度実績】

10回開催、計29名参加

●個別事業

新たにコレクティブハウス等をつくる際の支援として、事業企画・事業コーディネート・設計監修、および居住者募集・居住者コーディネート等を行っています。

→プロジェクトリポート(P9) 参照

会員活動

●メンバーズ・カフェ

会員間、または会員とCHCとのコミュニケーションの場として始めた気軽な「お茶飲み」の場。NPOの活動に関わるきっかけのひとつとして位置づけています。

【11年度実績】

4回開催、計21名参加

(うち、これをきっかけにCHCのプロジェクトに参画、5名)

普及・啓発

●講師派遣

各種セミナー等にCHC理事やコレクティブハウス居住者を講師として派遣し、活動の紹介等を行っています。

【11年度実績】P12参照

●ネットワークセミナー

各方面より参加者を募り開催する双方向のセミナー。CHCの取り組みを様々な切り口で取り上げ、多角的な情報発信、幅広いネットワークづくりを目的に開催しています。

【11年度実績】

1回開催、計45名参加

●見学会

各コレクティブハウスへの見学会を定期的に開催し、普及啓発を図っています。

【11年度実績】

かんかん森 6回開催 計 99名参加

CH巣鴨 5回開催 計40名参加

CH聖蹟 6回開催 計53名参加

CH大泉学園 4回 計31名参加

●コレクティブハウジング全国大会

→プロジェクトリポート(P5)参照

●東北コミュニティ再生・創造支援

→プロジェクトリポート(P8)参照

CHCへのメッセージ

CHCを支えてくださっているみなさまから、メッセージをいただきました。

シェアする暮らしのポータルサイトのプロジェクトに、チームメンバーとして携わらせて頂いています。私自身もシェアハウスに住んでいるため、「シェア」と「コレクティブ」の違いを考えてみたり、多くの人がもっと心豊かに生きていく方法を「住まい」という観点から考えてみたりするのが好きです。

コレクティブハウスに対して「すごく特別な住まい方」というイメージを持っている方も多いかもしれません、実は「自分たちの暮らしを主体的に創り上げていく」というごく当たり前のことをやっているだけだと思っています。

その「主体性」を放棄してしまっているのがいまの社会。

「コレクティブな暮らし=主体性のある暮らし」の豊かさをもっと世の中に広めていく活動を、今後もCHCと一緒にさせていただけたら嬉しいです。



コレクティブハウス大泉学園
居住者 宮前ユミさん



サポートーズクラブ会員
浅川美知子さん

コレクティブハウス大泉学園に住んで約2年半。職場と一人暮らしのアパートの往復では知りえなかった個性豊かな居住者との暮らしは、わたしの日常に豊かなスパイスを加えてくれています。

一人ひとりがお互いの「個」を尊重しつつも、気持ちよく協力しあう関係を築くことは、簡単なように見えて実は「テクニック」が必要です。それを学んだのは、CHCのコーディネーターである宮前さんの絶妙なアシストからでした。少し気になることについてのシェアリングや、何か問題が起きた時の解決法。ふと見過ごしてしまいがちな誰かの一言を聞き逃さず、「これが問題になっているのは、そもそもなぜ?」「誰かに負担が集中していないか」と。

みんなが無理なく楽しみながら生活を送ることができているのも、CHCのファシリテートがあってこそだと思っています。これからも、どうぞよろしくお願ひします。



道志村は山梨県の東南端、神奈川県との県境に位置する人口1,903人の山間の小さな村です。が、ここにはパワフルで村のためにやがては将来やってくる超高齢化社会に身をおく自分たちのために何かを始めたいと考える「人の宝」がたくさん集う村でもあります。この「宝」が自ら輝くよう、力を注いでくれたのがCHCの狩野さんたちでした。

行政のことを実施するのではなく道志村に安心して暮らせるために何ができるか、じっくり自ら考えることから始まり、何が自分たちで出来るか、何から取り組むのか、夜10時までワークショップを何度も積み重ねてきました。

四年の経過を得て「生きている宝」は点から線、そして渦になり、各地区のお茶のみ会、買い物ツアーや交通問題、道志村のPRへの取り組みとなりました。現在そして将来の道志村を力強く支える力を引き出してくれたCHCの皆さんとの出会い・力添えに感謝し、「生き続ける宝」を大切にしていきたいと心から思っています。



道志村役場 住民健康課
宮下美恵子さん
(中山間地の暮らしづくり支援PJ)

メディアでの紹介

日付	媒体	タイトル
新聞 2011.12.5	東京新聞	「共同生活の再発見」大阪大学大学院助教・久保田裕之氏の記事の中でコレクティブハウスが取り上げられています。
雑誌 2011.12.26	建築士 2011 December (日本建築士会連合会)	「居住者・事業者・専門家の協力による賃貸住宅事業」として、コレクティブハウス聖蹟の事業を紹介。
雑誌 2011.12.26	City & Life no.102 (都市のしくみとくらし研究所)	特集「交流住宅」-新しい暮らしのかたち～の中で、コレクティブハウス聖蹟が取り上げられています。
2011.8.15	ビッグ・イシュー 173号 (ビッグ・イシュー日本)	「人の営みの中で暮らす」「肩の力をぬいてムリしない」のタイトルで、スガモフラットが取り上げされました。

講師派遣

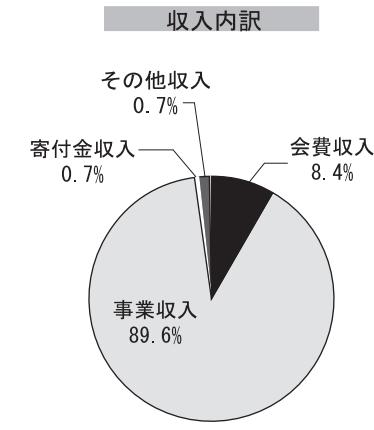
日付	依頼元	講座・講演名
2011.10.15	明るいシニアライフをつくる会「結」(大分)	老後の住まいと暮らし方
2011.10.21	たいとう歴史都市研究会	第一回歴的建造物保存活用講座
2011.10.29	神奈川県都市整備課景観まちづくりグループ	邸園(歴史的建造物)保全活用推進員養成講座
2011.11.5	参議院議員大河原事務所	コレクティブハウジングの可能性と課題
2011.11.26	(社)日本建築家協会関東甲信越支部杉並地域会	シェアする暮らしの豊かさとは?
2011.12.9	一般財団法人住総研	2011年連続シンポジウム第2回 縮小社会に向けた新しい住まいのかたちー事例紹介ー
2011.12	東京都中小企業振興公社	コレクティブハウジング ~多世代で開かれたコミュニティをつくりながら暮らす~
2012.1.21	鹿児島 いちごいち笑	これから、"誰と" "何処で" "どう"暮らす?
2012.2.2	目黒区住宅・街づくりセンター	多世代で共生する暮らし「コレクティブハウス」
2012.3.25	関東シニアライフアドバイザー協会	コレクティブハウスを知っていますか?
2012.4	日本不動産経営協会	コレクティブハウジング ~多世代で開かれたコミュニティをつくりながら暮らす~

ご支援・ご協力いただいた団体

(順不同、敬称略)

団体名	内容
ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京	「ファイナンスモデル研究」「シェアする暮らしのポータルサイト」「事務局パワーアップ」「コレクティブハウジング全国大会」 一事業推進への伴走【資金支援と人的支援】
独立行政法人福祉医療機構	平成23年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業 事業名:仮設から始めるコミュニティづくり支援事業【助成金】
中央共同募金会	赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート基金」助成事業 活動名:仮設住宅や被災地域での孤立化を防ぎ、共に日常の暮らしを取り戻すための手仕事を柱にしたコミュニティの再構築の支援活動【助成金】

会計報告



収支計算書
2011年5月1日～2012年4月30日 [税込](単位:円)

科目	額
収入の部	
1.会費収入	1,377,000
2.事業収入(*1)	14,750,939
【事業モデル開発】	
ファイナンスマネジメント研究	70,000
シェアする暮らしのコミュニティサイト	1,000,000
団地コミュニティ再生支援	0
中山間地域の暮らしづくり支援	519,750
講師派遣	445,900
ネットワークセミナー	90,500
見学会	352,500
コレクティブ力養成講座	0
コレクティブハウジング全国大会	2,011,313
東北コミュニティ創造・再生支援	4,045,000
居住希望者支援	98,500
居住希望者の会	31,500
事業主支援	455,000
(仮)CH北浦和	0
元総社公社住宅	2,129,400
(仮)CH沼袋	315,000
既存居住者及びハウス支援 巢鴨	895,527
既存居住者及びハウス支援 聖蹟	1,311,422
既存居住者及びハウス支援 大泉	496,627
既存居住者及びハウス支援 菊名	0
暮らす会	0
メンバーズカフェ	24,000
放送部	0
出版部	0
ディベート部	0
3.寄付金収入	107,400
4.その他収入	228,077
雑収入(還付金など)	3,477
受取利息収入	570
書籍・DVD	87,030
その他(原稿料、印税)	141,000
当期収入合計(A)	16,463,416
支出の部	
1.事業費(*2)	7,483,225
【事業モデル開発】	
ファイナンスマネジメント研究	45,740
シェアする暮らしのポータルサイト	424,670
団地コミュニティ再生支援	1,570
中山間地域の暮らしづくり支援	184,770
講師派遣	154,560
ネットワークセミナー	46,831
見学会	232,350
コレクティブ力養成講座	0
コレクティブハウジング全国大会	1,922,282
東北コミュニティ創造・再生支援	3,659,346
居住希望者支援	93,193
居住希望者の会	147,630
事業主支援	94,430
(仮)CH北浦和	0
元総社公社住宅	143,480
(仮)CH沼袋	224,870
既存居住者及びハウス支援 巢鴨	19,790
既存居住者及びハウス支援 聖蹟	31,120
既存居住者及びハウス支援 大泉	42,040
既存居住者及びハウス支援 菊名	0
暮らす会	0
メンバーズカフェ	14,553
放送部	0
出版部	0
ディベート部	0
2.管理費	7,681,451
支払報酬	5,440,694
賃借料	662,700
諸経費	1,578,057
当期支出合計(B)	15,164,676
経常収支差額(A)-(B)	1,298,740
その他資金収入の部(C)	1,549,121
未収金減少額	182,600
預り金増加額	107,065
差入保証金戻り額	96,000
その他資金支出の部(D)	1,775,673
短期借入金返済	0
未収金増加額	1,370,441
預り金減少額	57,534
当期収支差額(A)-(B)+(C)-(D)	1,072,188
正味財産増加の部 計(E)	2,847,861
正味財産減少の部 計(F)	1,557,012
当期正味財産増加額(E)-(F)	1,290,849
前期繰越正味財産額(G)	955,409
次期正味財産合計(E)-(F)+(G)	2,246,258

*1 事業収入のうち31%は助成金によるものです
*2 事業にかかる人件費は、各事業費の中に含まれています

貸借対照表
2012年4月30日現在
(単位:円)

I 資産の部

科目	金額
流動資産 計	4,551,228
現金	154,517
普通預金	2,728,572
未収金	1,370,441
その他流動資産	297,698
固定資産 計	225,551
什器備品	25,551
出資金	150,000
差入保証金	50,000
その他の資産	200,000
資産合計	4,776,779

II 負債・正味財産の部

科目	金額
流動負債 計	2,270,521
短期借入金	1,000,000
預り金	107,065
固定負債 計	260,000
長期借入金	260,000
負債合計	2,530,521

III 正味財産の部

科目	金額
正味財産	2,246,258
(うち当期正味財産増加額)	1,290,849
負債・正味財産の部合計	4,776,779

会員を募集しています

CHCでは以下の会員を募集しています。

CHCと一緒に活動したい方は… サポーターズクラブ

CHCの活動に共感し、これを支援し、ともにつくるメンバー向けの会員制度です。
年会費 1口 3,000円 (学生の方は、1口1,000円)
お一人様何口でも申し受け致します。
CHC年度毎の更新となります。

サポーターズクラブのメンバーになると…

- CHCに関連するイベント情報やニュースをいち早く受け取れます
- 対象となるセミナー等の参加費が会員割引となります
- CHCが行う活動にメンバーとして参加いただけます

お申込み方法

ホームページ内「サポーターズクラブ」ページよりお申込みください
(URL : <http://www.chc.or.jp/join/supporters.html>)

居住希望会員

コレクティブハウスに住みたい、つくりたい、仲間になる人に会いたいといった、コレクティブハウジングの暮らしを実際に自分の住まいとしたい方向けの会員制度です。

年会費 1口 3,000円 (学生の方は、1口1,000円)

何口でも申し受け致します。
CHC年度毎の更新となります。

居住希望会員になると…

- コレクティブハウスに住みたいと考える仲間と出会えます
- 関連する情報をいち早く受け取り、入居にかかる初期段階の支援を受けられます
- 対象となるセミナー等の参加費が会員割引となります

お申込み方法

ホームページ内「住んでみたい」⇒「入会案内」ページよりお申込みください
(URL : <http://www.chc.or.jp/orientation/kyoju.html>)

お問合せ先

NPO法人コレクティブハウジング社 事務局

E-mail : info@chc.or.jp

TEL : 03-5906-5340 FAX : 03-5906-5341



コレクティブハウジング…

それは、豊かな共有空間を持ちコミュニティで暮らす住まい方
新たに人と人がつながり直すことのできる暮らし

それは
一人ひとりが大切にされる社会

「誰かに会える」
「一人になれる」

安心して孤独でいられる、
あなたの居場所があります。



特定非営利活動法人 コレクティブハウジング社

〒171-0031 東京都豊島区自白3-4-5 アビタメジロ302
TEL:03-5906-5340 FAX:03-5906-5341
E-mail info@chc.or.jp / URL http://www.chc.or.jp

発行:2013年5月30日(2013年6月24日改)／発行人:特定非営利活動法人コレクティブハウジング社
編集:伊藤直子、川上英里